

千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値
			R6	R7	R8		
1 県内図書館の中枢としての役割	(1) 市町村立図書館等への支援	<p>運営相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市町村を訪問し、図書館運営等について助言や援助を行う。 ・電話やメール等による運営相談は随時受け付ける。 <p>資料の図書館間貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等の求めにより、県立図書館所蔵資料を提供する。 <p>市町村立図書館等職員への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページを活用し情報の発信・共有を行う。 <p>新館における資料搬送サービスの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村に対するアンケート調査を実施し、新館における資料搬送について検討を進める。 <p>県内最後の1冊保存体制の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内図書館の意見を聴取し、共通ルール（案）を作成する。 	▶	▶	▶	市町村立図書館等の運営相談件数	345
	(2) 図書館職員研修の充実	<p>研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験別研修、分野別研修の研修結果を分析し、研修プログラムの充実を図る。 <p>研修機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる遠隔開催や地域別開催、研修動画の配信を実施する。 <p>研修会のアーカイブ化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内事例等の調査や課題等の洗い出しを行い、研修会のアーカイブ化について検討を進める。 	▶	▶	▶	研修会の受講者数	720
2 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	<p>読み聞かせ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティア養成講座や組織運営を学ぶ講座等を実施する。 ・読み聞かせボランティア等の活動の場を提供する。 <p>県立学校への電子書籍サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校のICT環境を活用して、県立図書館の電子書籍サービスを提供する。 <p>ヤングアダルトサービスの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館や学校図書館等の担当者を対象とした研修会を実施する。 ・ヤングアダルトサービスに関する情報交換等の場を提供する。 ・市町村立図書館や学校図書館等と連携事業を研究する。 <p>外国にルーツのある子どもや保護者等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母語に触れることができる児童書等を収集する。 ・図書館見学会や外国語でのおはなし会等子ども向けの国際交流を目的としたイベントを実施する。 ・関連諸機関に県立図書館の多文化サービスについての情報を提供する。 ・市町村立図書館等の多文化サービスを支援する。 <p>聴覚や言語に障害のある子どもやその保護者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話付きおはなし会の開催を研究する。 ・病院等への出前事業などアウトリーチサービスを研究する。 <p>児童書選定支援用資料の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等向けの児童書選定支援用資料の収集範囲や運用等の検討を進める。 ・児童書選定支援用資料のモデル展示や出張展示、リスト公開等について検討を進める。 <p>子どもたち自身が参加するイベント等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館マイスター講座、読書会やビブリオバトルを実施する。 ・本の紹介POP作成など設備・機材を活用したイベントについて研究する。 	▶	▶	▶	子どもの読書活動推進センターページアクセス数	1,030
	(2) 学校図書館への支援	<p>資料の貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習用の学校貸出セットを整備（新規作成・改訂）し提供する。 ・未登録校に対し、新規登録を促進する。 <p>県立学校の読書活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立高等学校の生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。 ・県立特別支援学校を訪問し、読書活動を支援する。 <p>学校における探究学習の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書単元・テーマ別資料リストを作成（追加・改訂）し提供する。 ・図書館を活用した授業等についての情報を発信する。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。 <p>市町村立図書館等と小・中学校図書館連携の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書単元・テーマ別資料リストなど資料情報を市町村立図書館等を通じて学校図書館に周知する。 <p>資料の県立学校間貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校等の相互貸借について、ニーズを把握するために実態調査を実施し、運用等の検討を進める。 	▶	▶	▶	貸出利用があった県立学校等の割合	50.0%

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値
			R6	R7	R8		
3 課題解決支援図書館	課題解決支援サービスの充実	課題解決支援サービスの提供 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を提供する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集・提供する。 ・テーマごとに基本資料や調査方法をまとめたパスファインダー（調べ方案内）を作成・提供する。 ・時事問題等に関する情報提供サービスとして「図書館から世界（ニュース）が見える」を作成・提供する。	▶	▶	▶	パスファインダー及び「図書館から世界（ニュース）が見える」ページ閲覧数	46,050
		オンラインデータベースの整備 ・県民のニーズに対応した幅広い分野のデータベースを整備する。	▶	▶	▶		
		オンラインデータベースの利用時間の拡充 ・図書館の閉館時間帯でもデータベース利用ができるサービスについて研究する。	▷	▷	▶		
		県政の重要課題の把握 ・県政の重要課題の把握に努め、課題に沿った資料の収集を行う。 ・県議会図書室と連携して県議会議員の調査研究活動を支援する。	▶	▶	▶		
		県内機関との連携強化 ・県内機関の活動や取組に関する情報を、図書館の情報発信機能等により県民に提供する方法を研究する。	▷	▷	▶		
		県の政策形成の支援 ・千葉県の政策や関連イベント関係資料の収集・提供方法を検討する。 ・情報探索技術向上研修など県職員向けの研修講座を企画する。	▷	▷	▶		
		新館における資料管理の検討 ・電子書籍の収集など新館における資料収集・整理・管理方法を検討する。	▷	▷	▷		
		新館における主題別係編成による効果的なサービス提供と事業展開の研究 ・多様化・専門化する県民ニーズに応えられる蔵書構築を目指し、各主題の情報収集や研究を行う。 ・各主題における資料や情報源に関する知識を有する司書の育成方法を研究する。	▷	▷	▷		
		4 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県関係資料の収集の充実 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め、千葉県関係の寄贈資料を収集する。 ・官公庁等のオープンデジタル資料を漏れなく収集する方法を研究する。	▶		
千葉県関係資料の提供 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースにデータを提供する。 ・パスファインダー、テーマ別リスト、書誌情報など千葉県関係情報に到達しやすい環境を整備する。 ・千葉県関係資料データベース「菜の花ライブラリー」にデータを追加する。	▶			▶	▶		
千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料などのデジタル化を計画的に進める。	▶			▶	▶		
インターネット上の地域行政資料の収集・提供方法の検討 ・県として遺すべき千葉県に関するインターネット上の情報の収集方法を検討する。 ・県や他機関等の未デジタル化情報の状況を調査し、公開に向けた連携・支援の方法を検討する。	▷			▷	▷		
					レファレンス協同データベース千葉県関係レファレンス事例の閲覧数	99,775	

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値
			R6	R7	R8		
5 県民が利用しやすいサービス	図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	電子書籍サービスの提供 ・電子書籍を整備し、電子書籍サービスを提供する。	▶	▶	▶	電子書籍の利用数	20,000
		障害者用コンテンツの提供 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等を作成し提供する。 ・サビエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データを提供する。	▶	▶	▶	国立国会図書館提供データダウンロード数	5,600
		遠隔対面朗読の実施 ・ウェブ会議システム等を使用して、図書館に来館せずに自宅等で利用できる音訳サービスを提供する。	▶	▶	▶		
		講座・イベントのオンライン開催 ・ウェブ会議システム等を活用し、オンライン上で講座・イベントを開催する。 ・講座・イベント会場から同時配信する環境を整備する。	▶	▶	▶		
		読書バリアフリーの推進 ・市町村立図書館職員、学校教職員、支援者等への公開講座や出前講座を開催する。 ・市町村立図書館等に読書バリアフリー資料紹介セットを貸出す。 ・関係機関と情報共有ネットワークを構築し、サービスを必要とする人に情報を届ける。	▶	▶	▶		
		高齢者の「生涯現役社会」につながるサービスの提供 ・高齢者の社会参加や課題解決につながる情報提供やサービスを提供する。	▷	▷	▶		
		多文化サービスの提供 ・日本語を母語としない県民やその支援者のニーズを調査し、多文化サービスのあり方を研究する。 ・図書館見学会や外国語でのおはなし会などのイベントを実施する。	▷	▷	▶		
		新館におけるバリアフリーサービスの研究 ・オンライン手話通訳サービス、手話通訳者や託児スタッフの配置など新しいサービスのあり方を研究する。 ・障害や発達段階別のおもちゃや福祉機器等に触れられるイベント等の実施について研究する。	▷	▷	▷		
		新館における非来館型サービスの研究・開発 ・利用案内、調べ方案内の24時間対応サービスについて研究・開発する。 ・簡易レファレンスのオンライン・自動対応化について研究・開発する。 ・スマートフォンで利用できるバーチャル図書館について研究・開発する。 ・県立図書館資料の県内市町村立図書館等での受取・返却について研究する。	▷	▷	▷		
		6 機能の重なりから生まれるもの	(1) 知的交流の場の提供	県民向け講座の実施 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶
県民向け講座の受講機会の拡充 ・オンラインによる遠隔開催や出前講座の開催、研修動画の配信を実施する。	▷			▶	▶		
学び直しの場の提供 ・県民が自学自習できる場としての機能・環境を提供する。	▶			▶	▶		
県民参加型プロジェクトの研究 ・県民が継続的に参加できる多様なプロジェクトのあり方を研究する。	▷			▷	▶		
県民が交流できる場の提供 ・図書館協力者、ボランティア、市民活動団体等の連携・協働を促進するための交流会を企画する。 ・図書館協力者、ボランティアの育成研修会を企画する。	▷			▷	▶		
新館における知的交流のあり方の研究 ・県民が人脈形成しながら連携・協働ができる場について研究する。 ・新館に整備予定の研修室や展示コーナー等の活用方法について検討する。	▷			▷	▷		
積極的な広報・PRの推進 ・県立図書館ホームページ、X（旧ツイッター）等SNSで、積極的に情報を発信する。	▶			▶	▶	X（旧ツイッター）等SNSのフォロワー数	208
(2) 博物館などとの連携の推進	連携事業の実施 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。		▶	▶	▶	連携事業の実施回数	20
	連絡調整会議の開催 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等との連絡調整会議を定期開催する。		▶	▶	▶	連携イベント参加者数	364

※各年度とも目標値を目指す。

凡例 ▶ 実施
▷ 検討